

◆石巻港復旧見学会(8月8日開催)の参加者から感想が届きました。

石巻市在住小学4年生の千葉君(男子)とお母さんから感想が届きましたので、ご紹介します。
復旧・復興にたずさわっている関係者の励みになります。
メッセージをお寄せいただいた千葉さんに、感謝申し上げます。

～お母さんからのメッセージ～

こんにちは。私は8月に行われた石巻港復旧見学会に参加した保護者です。
見学会に参加した次の日に、すぐ、息子が作文を書いたのでコピーして送ります。
親子共に、見学会に参加したことによって、心の中にいろんなことを思ったことが伝われば幸いです。

あの日、防波堤の上で拾ってきた貝殻が、まだ、棚の上に飾られています。
私は(体調の都合で)船に乗れなかったので、一人でウロウロしていたのですが、
その時発見したコンビニ(写真①)に私は凄く驚きました。
コンビニは、駅前など人通りの多いところにあるものだと思ってました。
それだけ、ここの現場ではたくさんの方が働いているんだと感じました。
そして、少しでも、その環境を良くしていこうと作られたコンビニなんだなと思いました。

石巻市民や働く人など、たくさんの方の、期待や希望いろいろな気持ちを全身で受けて働く、
ガレキ処理の最前線に立つ人達は自衛隊みたいにかっこよかったです。
これからも頑張ってください。

～千葉君(小4)の感想文～

題名:ガレキ処理に感動

ぼくは、ガレキしよりの見学にママと弟で行った。
まず船に乗ってぼうはいてまで行った。波が大きくても、ぼうはいてでは(波は)こなかった。
そこでYの字をしているものを見つけた。そこには30と書いてあった。
おじさんに『これは何ですか?』と聞いた。
(おじさんは)『これはYの字ブロック(テトラポッド)です(写真②)』と言っていた。
ぼくは『なぜ、ななめなんですか?』
(おじさんは)『これは、もともと真っすぐだったんです。でも、つ波で、ななめになってしまったんです※』と言っていた。
(※しっかり積まれていたテトラポッドが**地震と津波で沈下(写真③)**してしまった)
それを聞いたぼくは、つ波さえなかったらなと思った。

つぎに、バスで、**ガレキ処理を見に行った。(写真④)**バスの中で、おじさんに
『ガレキの山は、何くらいあるんですか?』と聞いた。
おじさんは、声をふるわせて『30ヶ所以上です』と言っていた。そして、外にでた。とてもくさかった。
でも、ガレキをしよりにしている人は、協力してガレキをしよりにするのにむ中になって、マスクをつけない人も中にはいた。
おじさんが、マスクをしながら『この人たちは、24時間仕事をしているんですよ。』やさしく言ってくれた。
弟は『え～、すご。』と言った。
ぼくも心の中でほんとうにすごいとつぶやいた。
ガレキしよりは、むずかしいけど、**ガレキをしよりにしている人(写真⑤)**は、とてもすごいと思った。
さい後に、ガレキの(煙突状の)あなについて教えてもらった。
おじさんに、ぼくが『このあなは何ですか?』と聞いた。
おじさんは、『これは火事を防ぐよぼうです。ほら、けむりが出ているでしょう。』と
おじさんはやさしく言ってくれた。

今回のガレキのしよりの見学で、ぼくは、いろいろな人たちががんばっているんだなと、分かりました。
あのくさいガレキをしよりにしているということがすごいと思う。
そのために(みんなのために)、今、ガレキしよりに大人は、がんばっているんだなと思った。



写真①:ガレキ処理現場のコンビニ



写真②:かさ上げされた防波堤とY字ブロック
(テトラポッド)



写真③: 荒天時に高波が沈下した防波堤を
超える様子



写真④: 参加者にガレキ処理の手順を
説明している



写真⑤:ガレキを手で選別している



写真⑥:選別された写真等の思い出の品は
展示して引き取り手を待っている

●「思い出の写真」について 詳しくは石巻市写真展示プロジェクトのページへ ↓
<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/bousai/syasinnkoukai/pro.jsp>

●石巻港復旧見学会(8月8日開催)の状況はコチラ ↓
<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/shiogama/topics/h25/pdf/event20120808.pdf>

